

○ 福島県動物愛護管理推進計画の進行管理について

県は、動物愛護管理に関わる各施策について、成果目標として9つの代表指標を設定しています。この代表指標については、それぞれに「中間目標」及び「最終目標」として数値目標を定め、事業達成度の評価をすることにより計画の進行管理を行い、5年毎に計画の見直しを図っています。

【各施策の代表指標と数値目標】

代表指標	基準値 (H18年度実績)	中間目標 (H30年度目標)	R3年度 実績	R4年12月末 実績(参考)	最終目標 (R5年度目標)
① 犬の引取り数	944頭	400頭 以下	162頭	79頭	200頭 以下
② 猫の引取り数	4,031匹	2,000匹 以下	1,438匹	1,489匹	2,000匹 以下
③ 狂犬病予防注射実施率	75%	100%	74.3%	70.4%	100%
④ 犬の捕獲頭数	2,229頭	850頭 以下	382頭	256頭	450頭 以下
⑤ 犬の苦情件数	3,521件	1,500件 以下	878件	596件	950件 以下
⑥ 犬の殺処分数	2,589頭	600頭 以下	122頭	55頭	120頭 以下
⑦ 猫の殺処分数	4,014匹	2,000匹 以下	1,035匹	1,067頭	1,600匹 以下
⑧ 動物愛護ボランティア 登録者数	262名	400名	373名	378名	500名
⑨ 動物取扱業施設(特定 動物飼養施設を含む)に おける違反件数	0件	0件	0件	0件	0件

○ 9つの代表指標の令和3年度実績について

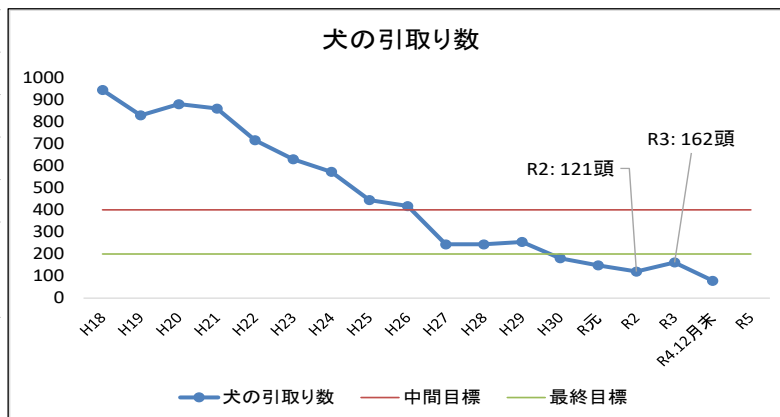
代表指標

① 犬の引取り数

【R3年度の実績】

飼い主の病気や入院を理由とした引取り相談が多く寄せられたほか、多頭飼育者から引取りを行ったケースが複数あった結果、前年度と比較し引取り数は増加した。

動物愛護センター	94
〃 会津支所	14
〃 相双支所	17
福島市保健所	12
郡山市保健所	9
いわき市保健所	16
県全体	162頭



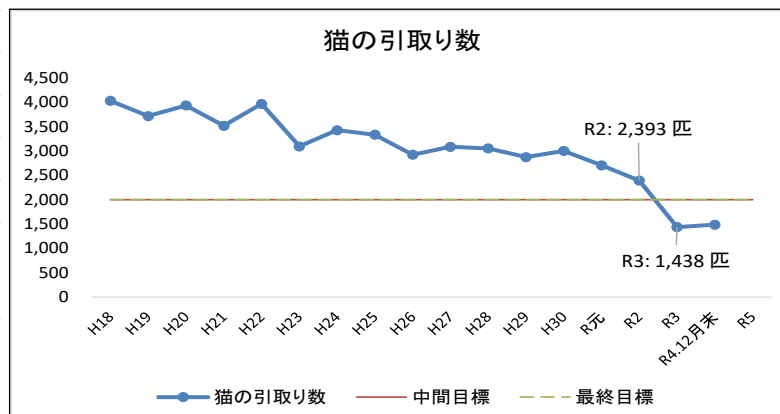
代表指標

② 猫の引取り数

【R3年度の実績】

猫の引取り数は、令和2年6月からの所有者の判明しない猫の引取り拒否の運用により、所有者不明の猫の引取り数が減少したほか、適正飼養の普及啓発により、所有者からの引取り数についても減少したことから、前年度と比較して大きく減少した。

動物愛護センター	591
〃 会津支所	308
〃 相双支所	96
福島市保健所	150
郡山市保健所	128
いわき市保健所	165
県全体	1,438匹



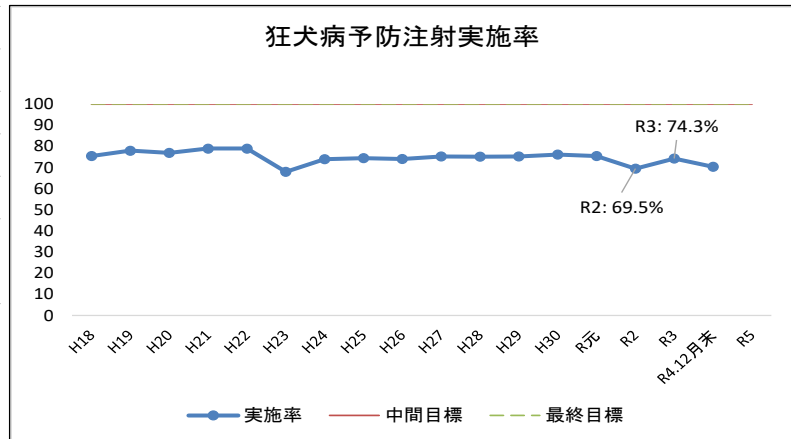
代表指標

③ 狂犬病予防注射実施率

【R3年度の実績】

予防注射実施率について、前年度は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響により、多くの自治体において集合注射の実施が見送られた結果落ち込んだが、令和3年度は、感染防止対策を行った上で例年どおり実施するケースが増えたことから上昇した。

動物愛護センター管内	79.1%
〃 会津支所管内	74.7%
〃 相双支所管内	74.1%
福島市	68.0%
郡山市	75.3%
いわき市	70.8%
県全体	74.3%



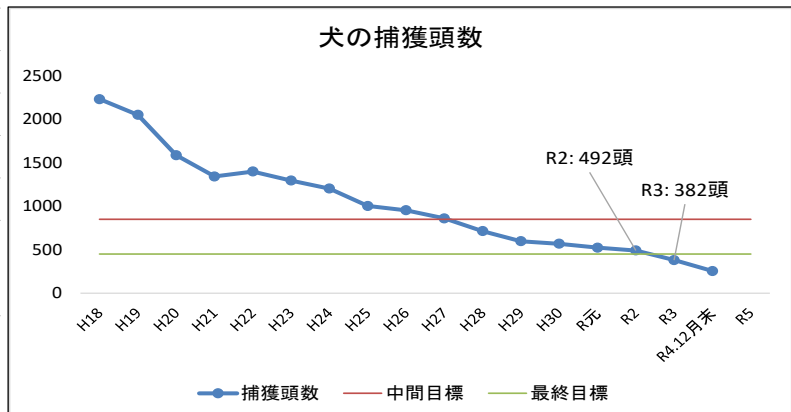
代表指標

④ 犬の捕獲頭数

【R3年度の実績】

前年度と比較し、捕獲頭数は減少しているが、捕獲された犬のほとんどが飼い主がいると思われるものであったことから、けい留義務遵守や所有明示措置の徹底について、引続き普及啓発を行う。

動物愛護センター	176
〃 会津支所	34
〃 相双支所	38
福島市保健所	29
郡山市保健所	63
いわき市保健所	42
県全体	382頭



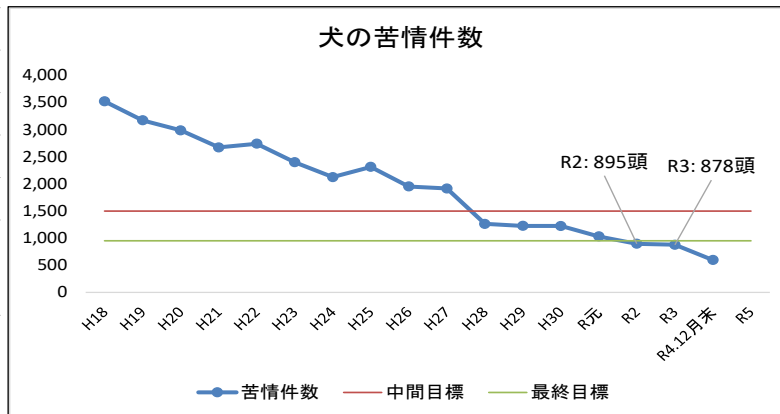
代表指標

⑤ 犬の苦情件数

【R3年度の実績】

前年度と比較して苦情件数は横這いとなっており、依然として、放し飼いや放浪犬などの苦情が多いことから、飼い犬の適正飼養について引続き普及啓発を行う。

動物愛護センター	283
" 会津支所	68
" 相双支所	201
福島市保健所	25
郡山市保健所	141
いわき市保健所	160
県全体	878件



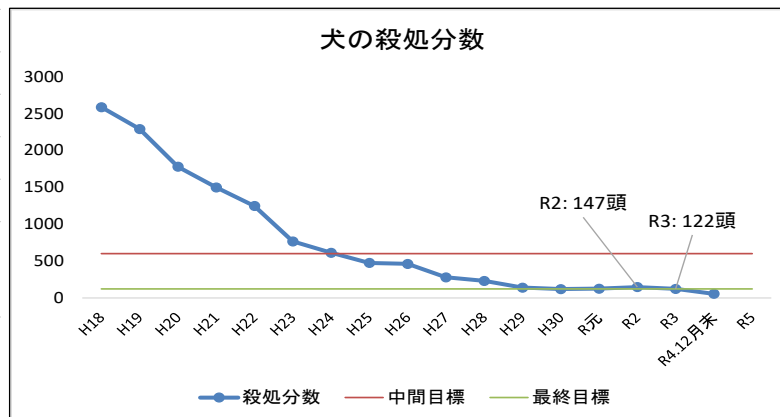
代表指標

⑥ 犬の殺処分数

【R3年度の実績】

前年度と比較し、殺処分数は減少したが、殺処分した犬の約6割は、所有者から引き取った成犬で、攻撃性や健康上の理由から譲渡不適と判断したものであった。

動物愛護センター	85
" 会津支所	11
" 相双支所	16
福島市保健所	3
郡山市保健所	5
いわき市保健所	2
県全体	122頭



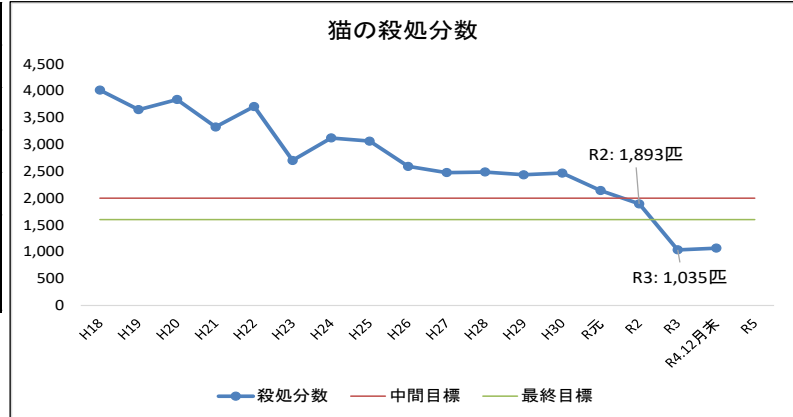
代表指標

⑦ 猫の殺処分数

【R3年度の実績】

所有者の判明しない猫の引取り拒否の運用等により、猫の引取り数が大きく減少したことから、殺処分数についても前年度と比較して減少した。

動物愛護センター	510
" 会津支所	241
" 相双支所	48
福島市保健所	65
郡山市保健所	50
いわき市保健所	121
県全体	1,035匹



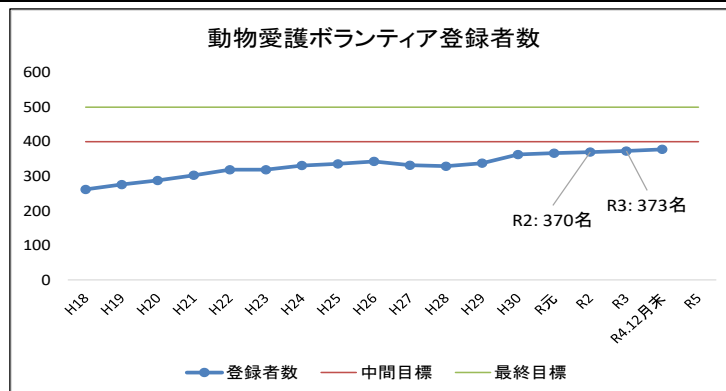
代表指標

⑧ 動物愛護ボランティア登録者数

【R3年度の実績】

新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で開催した講習会※により、3名が動物愛護ボランティアに登録し、累計の登録者数は373名となった。

※動物愛護ボランティア養成講習会(中核市は当該事業なし)

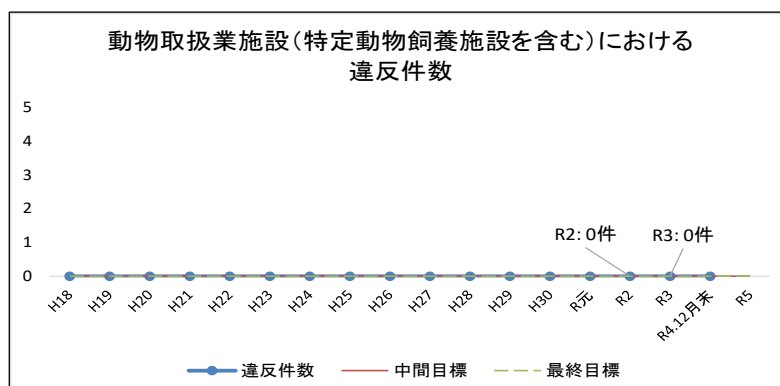


代表指標

⑨ 動物取扱業施設(特定動物飼養施設を含む)における違反件数

【R3年度の実績】

動物取扱業施設及び特定動物飼養施設において、動物愛護法に違反する事案はなかった。



○ 動物愛護関連事業の令和3年度実績

		R2年度 実績	R3年度 実績	R4年12月末 実績(参考)
犬及び猫の譲渡事業	犬の譲渡数	166頭	178頭	105頭
	猫の譲渡数	465匹	385匹	382頭
飼い犬等のしつけ方教室 (猫の飼い方講習会含む)	開催回数	23回	15回	22回
	受講者数	200名	193名	146名
小学校への獣医師派遣事業	開催回数	30回	45回	61回
	受講者数	1,079名	1,653名	2,037名
動物取扱業施設監視率		28.9%	52.3%	33.1%
特定動物飼養施設監視率		108.5%	140.6%	144.4%
動物取扱責任者研修会	開催回数	0回 [※]	0回 [※]	0回 [※]
	受講率	-	-	-
動物愛護ボランティア養成講習会	開催回数	2回	1回	1回
	受講者数	3名	3名	5名

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止し、資料送付等により対応。

犬及び猫の譲渡事業

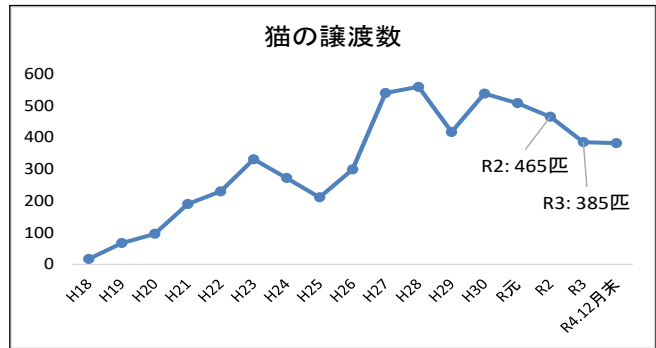
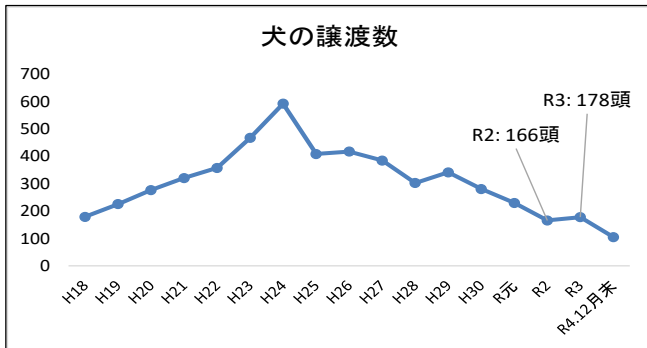
【目的】

動物愛護センター(支所を含む)や中核市保健所に收容された犬及び猫に、生存の機会を与え犬等の殺処分数の削減を図ることを目的とする。

【令和3年度の実績】

前年度と比較し、犬の譲渡数は若干増加した。一方、猫については、收容された猫の約7割が離乳前の子猫や健康状態において不適な成猫であり、譲渡に適する猫の收容数が少なかったため、譲渡数は減少した。

	犬	猫
動物愛護センター	82	81
" 会津支所	13	62
" 相双支所	20	44
福島市保健所	16	86
郡山市保健所	18	71
いわき市保健所	29	41
県全体	178頭	385匹



飼い犬等のしつけ方教室(猫の飼い方講習会含む)

【目的】

犬等の飼い主にしつけの方法や飼養管理に関する知識、その他必要な事項を習得させることにより、人と動物の調和ある社会の実現をめざすことを目的とする。

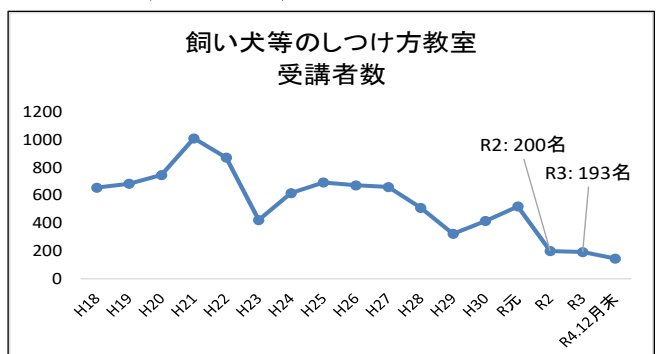
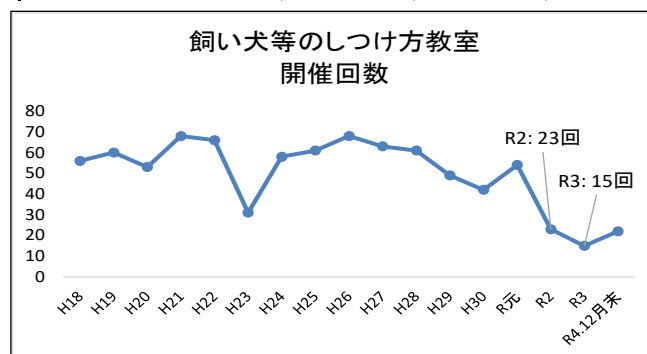
【令和3年度の実績】

新型コロナウイルス感染症の影響により、開催回数及び受講者数ともに前年度と比較して減少したが、一方で、猫の飼い方講習会では、コロナ禍でも安心して受講してもらえるよう、オンライン形式による講習会という新たな試みを行い、適正飼養の普及啓発を図った。

	飼い犬等のしつけ方教室			猫の飼い方講習会	
	学科講習	実技講習	受講者数	実施回数	受講者数
動物愛護センター	3	4	40	—	—
" 会津支所	1	1	8	—	—
" 相双支所	0	0	—	—	—
福島市保健所	0	2	46	—	—
郡山市保健所	0	0	0	2	19
いわき市保健所	1	0	12	—	—
県庁食品生活衛生課	—	—	—	1※	68※
県全体	5回	7回	106名	3回	87名

※ 講習動画のオンデマンド配信

総計 実施回数 15回
受講者数 193名



小学校への獣医師派遣事業

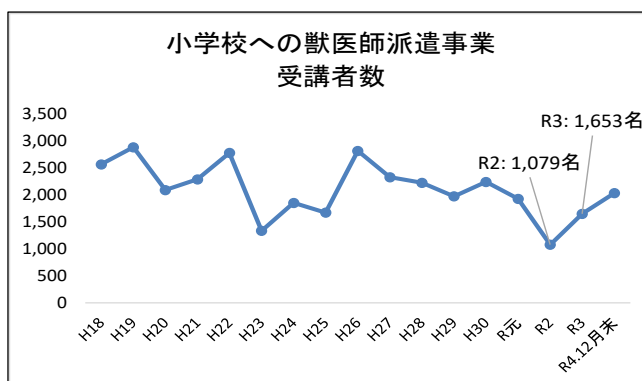
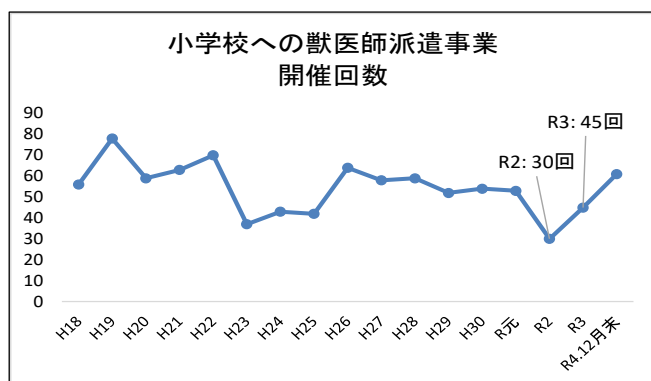
【目的】

小学生が動物についての学びや動物とのふれあいを通じて、自分と身近な動物との関わりに関心を持つとともに、命の大切さや相手を思いやる気持ちを育むことを目的とし、もって人にも動物にもやさしい社会の実現に資することを目的とする。

【令和3年度の実績】

前年度、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、多くの小学校において事業が中止となったが、令和3年度は感染防止対策を図りながら、例年どおり実施することができた。
※郡山市及びいわき市は当該事業なし。

	延べ実施回数	受講者数
動物愛護センター	24	1,043
〃 会津支所	14	421
〃 相双支所	3	63
福島市保健所	4	126
県全体	45回	1,653名



動物取扱業施設の監視指導

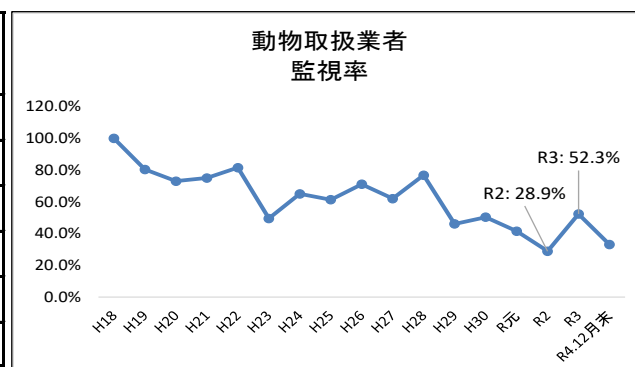
【目的】

動物取扱業施設における、設備構造や衛生管理、動物の取扱い方法等が、動物愛護法で定める基準を遵守しているか等を監視し、必要な指導を実施することにより、動物の愛護及び福祉の向上を図るとともに、施設周辺的生活環境の保全を図る。

【令和3年度の実績】

動物愛護管理法の一部改正により、施設基準や管理基準が具体的に規定されたため、基準の逸脱など法令違反が発生しないよう監視指導を行った。しかしながら、新基準への適合状況や、取扱う犬猫へのマイクロチップ装着状況等を確認するため、監視に従来より2~3倍の時間を要し、また、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあったことから、全ての施設への立入は困難であった。

	対象施設数	延べ監視件数	監視率
動物愛護センター	141	122	86.5%
〃 会津支所	71	61	85.9%
〃 相双支所	53	14	26.4%
福島市保健所	110	57	51.8%
郡山市保健所	103	42	40.8%
いわき市保健所	143	29	20.3%
県全体	621件	325件	52.3%



※対象施設 第一種:594施設、第二種:27施設

特定動物飼養施設の監視指導

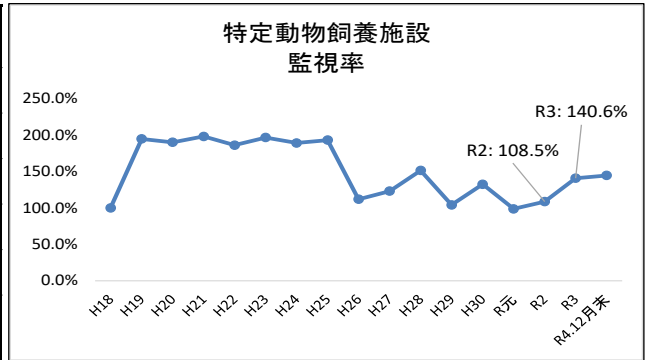
【目的】

特定動物(危険動物)飼養施設における、設備構造や衛生管理、動物の取扱い方法等について監視を実施し、特定動物による人の生命、身体への危害及び財産に対する侵害の防止を図る。また、動物の生態に配慮した飼養管理方法についても監視し、動物福祉の向上を図る。

【令和3年度の実績】

新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で監視を実施し、動物の飼養管理及び施設の保守、安全管理等に問題がないことを確認した。

	対象施設数	延べ監視件数	監視率
動物愛護センター	44	76	172.7%
〃 会津支所	9	9	100.0%
〃 相双支所	1	1	100.0%
福島市保健所	2	2	100.0%
郡山市保健所	4	0	0.0%
いわき市保健所	4	2	50.0%
県全体	64件	90件	140.6%



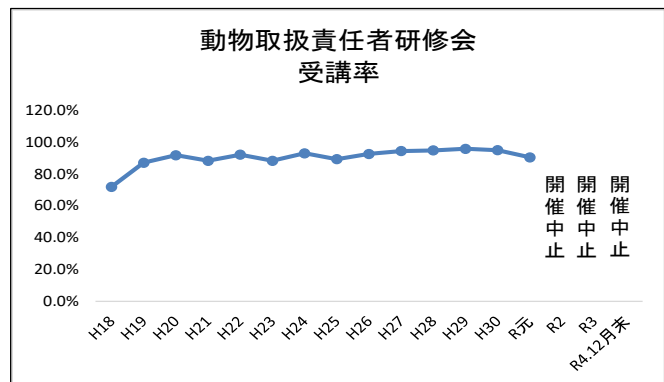
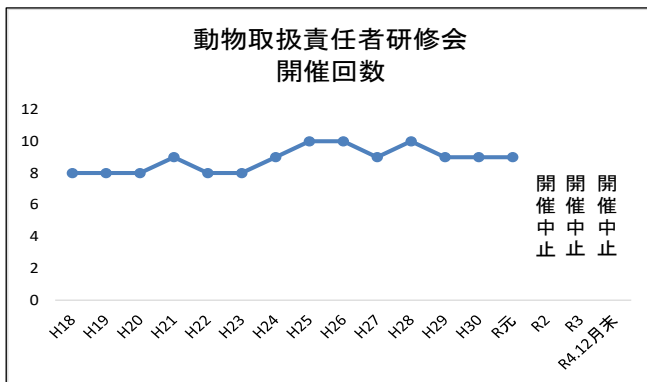
動物取扱責任者研修会の開催

【目的】

動物を取り扱う専門家としての自覚の醸成と社会的責任を果たせるように、動物取扱責任者を対象に、動物の取扱いに必要な知識及び能力に関する研修会を開催し、動物取扱業者全体の資質向上を図ることを目的とする。

【令和3年度の実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止し、資料送付により対応した。



動物愛護ボランティア養成講習会

【目的】

飼い犬等のしつけ方教室の受講者等を対象に、動物愛護ボランティア養成講習会を開催し、地域における動物の愛護と適正飼養等を普及啓発する人材の育成を図る。

【令和3年度の実績】

新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、動物愛護センターにおいて1回講習会を開催し、3名の受講者が動物愛護ボランティアに登録した。

※中核市は当該事業なし

